

## 第5回 阿久比町総合計画審議会議事録

1. 議事日程 平成22年10月7日(木) 午後1時30分開会 場所 役場大会議室

1 会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 議題

(1) 第5次阿久比町総合計画(基本計画)について

第3章 人にやさしい健康・福祉のまち(P86~P111まで)

第4章 人を育てる教育・文化のまち(P112~P137まで)

(2) その他

2. 出席した委員(19名)

瀧瀬信子	大村泰敬	佐治有孝	海月ルイ	山本澄代	知崎明美
竹内正順	杉浦幹夫	新美正彦	梅川圭司	北中祥子	竹内幸太郎
皆川徳成	竹内俊夫	竹内初成	中嶋 昌	新美尚史	伊藤直人
吉住まり子					

3. 欠席した委員(1名)

清水裕之

4. 出席した町職員(10名)

町長	竹内啓二	副町長	近藤 博	教育長	鳥居久男	総務部長	間瀬政好
民生部長	榊原章夫	建設部長	新海俊彦	教育部長	瀧塚政明		
企画財政課長	竹内昌弘	企画電算係長	野崎秀幸	主事	河合裕司		

5. 出席したその他の者(1名)

(株)ぎょうせい総合研究所 研究員 伊沢雅史

6. 会議に付した事項

議事日程に同じにつき省略

## 7. 議事の経過の事項

午後1時30分開会

(進行 総務部長)

- 1 会長より開会のあいさつ
- 2 町長あいさつ
- 3 議題 (以下新美会長による進行)

### (1) 第5次阿久比町総合計画 (基本計画) について

第3章 人にやさしい健康・福祉のまち (P86～P111まで)

民生部長より中間報告からの修正箇所について説明。

第4章 人を育てる教育・文化のまち (P112～P137まで)

教育部長より中間報告からの修正箇所について説明。

### (2) その他

企画財政課長より今後の開催日程など説明。

## <質疑>

### (1) 第5次阿久比町総合計画 (基本計画)

#### 【第3章 人にやさしい健康・福祉のまち (P86～P111まで) について】

新美尚史委員

内容については、非常によくできていて良いと思います。保育園の統廃合について、現時点での具体的な計画等があればお聞かせいただきたい。また、統合される予定の保育園、町立の英、北原、城山保育園と理解しているがそれでよいでしょうか。

民生部長

現在の進捗状況について、保育園の基本計画策定委員会を立ち上げ、3回の会議を開催しました。保育園の建設位置について第1案から第3案を委員会に提示させていただき、最終的に地主との用地交渉を行っています。今月下旬に4回目の会議を開催し、その会議で建設候補地の選定をする予定となっています。

また、統合の対象は、英、北原、城山の3保育園を1園に統合するという計画となっています。

#### 佐治有孝委員

統合する保育園について、工事費等3保育園が統廃合するので、お金もかかると思いますが、建設費などの程度予定をしているのか教えていただければと思います。

また、小学校等はまだ耐震工事は終わっていますが、南部保育園は町の補助をいただいて耐震工事を行うことになっています。その他の英、北原、城山は至急耐震工事を行わないと危ないので、至急対応していただきたいと思います。

早目に耐震の工事ができなければ、ぜひとも統廃合によってクリアしていただきたいと思います。施設の面に関しては、保育士の方の意見も取り入れていただいて、子どもにとっても、保育士にとっても、使いやすい良い施設にしていきたいと思います。

#### 民生部長

建設につきましては、事務局に保育園の園長さんもすべて入っていただき、新保育所基本計画策定委員会で内容など皆さんにご審議いただきますので、建設費については、まだ固まっておりません。

それと、耐震化は重々わかっておりますので、早く実現するように我々も努力してまいります。まず、新保育所の土地を確保してからのスタートになるものですから、ご理解いただきたいと思います。

#### 瀬瀬信子委員

意見的なものですが、福祉の面では、これからの社会、今までの社会よりも一番大切になってくるのは、やはり小規模、小地域のコミュニケーションを大事にするということが大切ではないかと思います。

特に近所づきあいの効用、それからまた民生委員の応援隊というか、住民に対する、そういったことは、これは行政の仕事ではなくて、やはり町民のこれからのまちづくりの基本に唱えていきたいものだと思います。

そういうことについて、民生委員さんも社会福祉協議会の会長さんも委員にいますので、ご意見をお聴きしたいと思います。

民生部長

額瀨委員からの要望、ご質問と思いますが、今年度から来年度にかけまして、社会福祉協議会と包括支援センター、それから町の保険課や民生児童委員の共同事業として、特に社会福祉協議会が主体となり、今ご指摘された小地域活動事業を現在、白沢台と宮津団地でモデル事業として実施しています。

そこを基本、核として、どの範囲まで持っていくか、高齢者だけに限定するのか、障害者まで幅を広げるのかをいろいろ今検討して、そうした活動を全町に広げる計画をしていますので、もう少し長い目で見ていただきたいと思います。

皆川徳成委員

高齢者福祉に関して、額瀨さんからお話しがありましたが、社会福祉協議会の立場としていろいろ考えていますが、これからの高齢者に関して、これからは地域でいろいろと活躍できるのは宅老所とかそういうサロンが一番大事だと思います。宅老所については、このままでいいのか、もう少し増やすのか、宅老所ではなく地域サロンでもいいのですが、高齢者が地域で触れ合いをすることが、この計画の中ではいろいろと表現されていますが、宅老所が地域に細かくあったほうがいいと思いますがそういった計画はありますか。

民生部長

皆川委員からご質問の宅老所について、92ページに成果目標という項目で、現在町内の4小学区にそれぞれ1箇所、計4箇所ありますが、10年後にはできれば倍の8箇所にしていきたいという計画を持っています。

ただ、実際に地区の公民館において宅老所というお話し、お願いを区長さんにしていますが、なかなか受け入れていただけない事例が多くて、この8箇所も10年後に実現するか難しいですが、努力して目標を達成したいと考えています。

こうした宅老所を増やしていくのと同時に、先ほど額瀨委員からご質問があったように、小地域福祉活動に関して、99ページの主要施策の(1)で地域福祉計画を策定すると掲げています。

この計画の中に、小地域活動計画を盛り込むことを考えています。総合計画ができたことを受けて、地域福祉計画も策定するわけですが、その中で皆川委員か

らご指摘のあった、高齢者が集まれるちょっとしたサロンの設置を地域福祉計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

#### 皆川徳成委員

宅老所について、長年やってくると、役員の人やまたその立場の人もいろいろと疲れてくるものですから、本当に今のやり方、ボランティア意識でいいのか、ある程度施設とかももう少し町が予算をつけてもらえないかなと思います。

宅老所に関係している知崎さんから、最近の情報を何か教えていただけますでしょうか。

#### 知崎明美委員

この10月で宅老所のボランティアとしての活動が10年目に入りました。何とか今までやらせていただきましたが、いらっしゃる高齢者の方が、本当に楽しんで来てくださいますので、現在は15名ですが、ほとんど休むことなく全員が喜んで来てくださいます。

もう少し若い高齢者の方にも来ていただきたいなと声をかけていますが、ゲートボールがいいとか、まだそんなところへ行くような年じゃないとか、新しい人がなかなか増えないものですから、ちょっと悩んでいます。

ボランティアは、男性3名、女性20名を4班でうまくやっていると思いますが、利用者の人数が当初の20人ぐらいはみえたらいいなと思います。やはり人数が少なくなれば会計も苦しくて、1日400円で25名体制の1万円という予算でやっていましたが、それだけではちょっと苦しいと感じています。

#### 梅川圭司委員

宅老所について、やはり当初からと比べると、再度考える時期に来ていると思います。現在4カ所ですが人数も少なくなってきました。遠いところからは高齢者は通えないわけで、近い人でなければ通えないのが現状じゃないかと思いません。また、係わっているのはボランティアといっても、本当に大変な仕事で、見ていると自分たちで作った物を持ち寄ってやっていて、大変です。

現在、宮津団地では、婦人の集いというのを別に設け、団地の中で自治会から

会費を出して補助して開催しています。月1回で30～40人の高齢者が集まりますが、これもやはり宮津団地周辺の人だけで、何とかして参加者を増やそうと努めています。集まってくるのが大変な現状があります。こういうのを行政も予算的にも支援していただきたいと思っています。

民生部長

宅老所の予算的な話がありましたが、この場で増額というのはお答えできかねますが、これから少子高齢化で高齢者が増えてきますので、箇所については増やしていく努力はさせていただきます。

ただ、場所等につきましては、町で設立することは当面考えておりませんので、地区で貸してもいいという施設がありましたら、ぜひともご紹介いただきたいと思います。

伊藤直人委員

108ページの左下の表について、国民健康保険収納率の推移とありますが、これは国民健康保険税なのか。また、数値が介護保険も含めて93.66%となっていますが、110ページの成果目標では国民健康保険税収納率（現年課税分）、21年度の実績が94.2%となっています。これは一緒なのか違うものなのか教えていただきたい。

民生部長

108ページは、本町の場合、国民健康保険税となります。それと、110ページと108ページの収納率の差については、介護分も入った収納率だと思いますので差が出てきているかと思います。

新美尚史委員

国民健康保険収納率が93.66%というのは他市町と比べて悪くない数字だろうとは思いますが、この中に、例えば免除されている方たちの割合、貧困等そういったものがどれくらいあるのか、そしてまた、中には納めていない方たちが6%強いますが、そういう方たちへの対応はどのようになっているかをお聞きしたい。

民生部長

申し訳ありません。免除の割合について、ちょっと今手元に資料がないものですからお答えできません。納めていない、滞納という意味で解釈して、滞納者には税務課と共同で年に2回ほど滞納整理ということで、各戸訪問して納めていただく、滞納額を示して集金といった少しでも滞納分を少なくすることを行っています。

新美尚史委員

例えば、差し押さえや水道を止めてしまうといった強行的な策をする予定はありますか。

民生部長

差し押さえについては、現在は実施しておりません。

新美尚史委員

くれぐれも納め損にならないよう、住民の納得が得られないことにならないよう、町も頑張っていたいただきたいと思います。

山本澄代委員

国民健康保険の人間ドックについて、募集の枠、それを広げないと、これからだんだん高齢者が増えますので、枠が決まっていたら受ける事ができない人が増えますので、国保は沢山納めていますので募集定員を増やしてほしいのですが。

民生部長

定員については予算編成もございますので、また考慮させていただきたいと思っています。

新美尚史委員

第4節の地域福祉に関して、阿久比町内にたくさんのボランティア団体があるということは頼もしい限りで、町民憲章にもうたわれているとおり、大事なこと

だと思えます。

例えば、退職されて家庭も落ち着いた60歳以上の方たちが、自分のためではなくて世間のためや人のために働きたいという意欲をお持ちの方、能力をお持ちの方がたくさんいると思いますが、意欲ある人を積極的に募ってボランティアとして活用する機能を役場がやるべきことだろうと思えます。

それから、第3節の障害者施策について、町にも障害者の団体等がありますが、そういった団体に参加している方が団体の理事や役が回ってくると色々大変で、例えば、会費の集金に回ったり、何か行事があるときに募って回ったりという事が非常につらいとこぼされておられた障害者の方がみえました。体が元気な方たちがそういった団体に参加して助けてあげられるコーディネーターというものをすべきだと思いますので、この2つを町の当局でこれから課題としてやっていただきたいと思います。このことについて町からの回答は結構ですので、ひとつの意見としてお願いします。

伊藤直人委員

103ページの町内医療機関の表が、19番の稲葉歯科医院だけがちょっと上に寄せられているのが気になりました。

民生部長

103ページの表について、位置の修正をいたします。

#### 【第4章 人を育てる教育・文化のまち（P112～P137まで）について】

竹内正順委員

教育委員会では子供たちの成長をどうするか話し合い、いろんな面で町にもご協力いただきまして、このように耐震工事等済んできました。財政もなかなか難しいとは思いますが、子供たちのためにご努力いただいていると思えます。

何をするにも一番地元の方の意見が肝要なところですので、町のほうでこうしますというのではなく、もろもろの意見があって一番いいところにいい形でというふうに思っておりますのでよろしくをお願いします。



皆川徳成委員

教育と子育てはいろいろと絡んでいるところが多く、教育を中心とした子育てと、民生のほうがやっている子育ては健康、精神的なものかもしれませんが、民生か、教育か、どちらで質問していいかわからないような状態も多いわけです。

それと、一番気にしているのは、幼保、幼稚園と保育園の、我々子供の時分には本当に親が働くために保育園に行くという、今でもその流れと思いますが、今、幼保教育一体化というか、その教育の関係と民生部の関係と、何かこう仕分けのわかりやすいような内容の説明というものはできますか。

教育部長

現在は文科省と厚労省の関係で、役所縦割りのなところがありますが、やはり対象となる子どもを育てることですので、横の連携を密にとって取り組んでいる状況です。

また、幼稚園、保育園の一体化ということで、認定こども園の制度等々もあるわけですが。どういう形が一番よいのか教育委員会や民生部ということなく、子どもを育てるという観点のもと、そういった組織ができればと私も考えているところです。

皆川徳成委員

障害のある方も一緒に学校に行っていますが、私は福祉の立場ですのでありがたいという気持ちですが、教育の立場として、身体障害だけではなくほかの障害を持つ子の親が学校に入れてほしいとお願いした場合の対応はどうですか。

教育部長

現状、身体、知的や情緒などに障害のある児童も学校で受け入れています。今年度、草木小学校に特別支援学級ができ、町内4小学校すべてで受け入れております。また、その子どもたちをサポートする生活支援員を配置して一人ひとりにきめ細かく指導、教育ができるように努めています。

どうしても通常の学校に通わせたいという気持ちの保護者もたくさんみえますので、どうしても無理なような状況であれば、またお話しを申し上げなければい

けないと思いますが、そんな状況で取り組んでいるのが実態です。

吉住まり子委員

幼保小中一環教育というのが始まってからもう5年たったと思いますが、もう随分進んできていると思います。それで、教職員の資質の向上、学校と地域の協力体制の充実などどんどん進んできていますが、保護者の教育と申しますか、それは、住民福祉でやることになるわけでしょうか。

参画・協働の指針というところに、保護者の立場から、保護者が愛情と責任を持って、家庭での子育てを行いましょうという欄がありますが、その保護者の教育というのは、いろいろ実施されているのでしょうか。

教育部長

学校と地域の協力体制の充実のお話しとか、教職員の資質の向上というお話しがございました。教職員の資質向上ということで、主要施策の(3)で挙げさせていただいています。目標としては、主要事業の中にあるように、日本一面倒見のよい指導者の育成と大きく打ち出していますが、こういった気持ちを持って児童・生徒を育てていただいて、教育していただける指導者が出てくることをぜひ望んでいまして、こういったものを1つの施策として挙げています。

それから、学校と地域の協力体制の充実というところで、主要事業にも挙げていますが、主要事業では、学校支援地域本部事業というふうに表現しています。いろいろ地域に潜在的に技術、能力を持った方がおみえです。その方々のお力をいただいて、学校だけの教育だけではなく、地域力をもって子どもを育てていくことを目標にして取り上げさせていただき、今、英比小学校が、現実的にいろいろそういったものに参画していただける方を募集して、例えば、囲碁、将棋、運動でも、そういったことでお手伝いいただける方を募集しながら、地域力を活用して子どもを育てていきたいという目標を持って取り組んでいますので、よろしくをお願いします。

吉住まり子委員

すみません。それは分かっているつもりですが、子供はそちらでしっかり教育

していただいているのですが、保護者のことをお伺いしたかったので、保護者に対する教育といたしますか、家庭教育学級とか名前はわかりませんが、そういう保護者の教育についてはどうでしょうか。

教育部長

119ページの主要施策の（3）地域の教育力の向上、家庭教育に関する講座の開催、広報、啓発活動の推進、学校と家庭の連携など、地域の教育力の向上に努めますということで、総合計画の施策指針として掲載しています。

具体的な主要事業として、120ページで地域の教育力の向上事業、家庭教育推進協議会及び青少年健全育成地区推進員連絡協議会活動の充実、社会教育で大人の教育といたしますか、そちらで取り組んでいきたいと考えています。

梅川圭司委員

135ページのスポーツに関して、（6）に体育館、プールの建設をすると記載されていますが、第5次計画で予定されていますか。

また、高校野球の愛知県大会を阿久比町でも開催していますが、サッカー場としても阿久比町は非常によいサッカー場を持っています。中学校とか高校の選抜大会で活用してもらえるような運動はしていますか。

教育部長

135ページに、スポーツの主要施策（6）として、体育館、プールの建設とありますが、第4次の総合計画にもありまして、この10年間では実現に至っていないわけですが、改めて第5次で掲載させていただいて第5次の計画期間中の10年間にぜひ建設したいという思いで載せていますので、ご理解いただきたいと思えます。

スポーツ村の施設は昭和62年に名古屋鉄道が整備し、平成14年から阿久比町の施設として現状に至っています。野球場にしてもグラウンドにしても、見ていただくとおり良い施設であり、なるべく各種方面からの利用を促進するよう、今後も働きかけていきたいと思っています。

梅川圭司委員

今のお答えですが、第4次にも第5次にも、体育館、プールを掲げていますが、毎度毎度こういう掲げ方では、希望だけ持たされて非常に町民としても困りますので、できれば期間を入れていただきたいと思います。

教育部長

期間につきましては、この第5次の10年間のうちということで、毎年度総合計画の実施計画を作成していきます。この実施計画は短期の3年間、中期の5年間という計画をつくり上げています。その実施計画の中に早い時期に盛り込んでいくように努めていきたいと思えます。

町長

将来的なことに対しては、政策的な面も入りますので、部長では回答しにくい部分もありますので、私から回答します。

今阿久比町の現状でいきますと、最初に3園統合の保育園の建設、次に防災拠点とそれから南館の文化ホールを備えた新庁舎建設、その新庁舎の建設に当たって、まだ場所等を検討していますが、現在ある町営プールが老朽化していますので、その部分を取り込んで、庁舎の建設をするなら、庁舎の建設と同時にプール建設が近い時期で行うことになろうかと思えます。

体育館については、大きく2つの考え方があり、大きな総合体育館を阿久比町としてつくっていったほうがいいのか、それとも、今4小学校区、地区がありますが、地区に白沢区民館のようなサブ機能を備えた体育館を設置したほうが、いざ災害等のときにも地元が使いやすい、という考え方もあります。

第4次では総合体育館という名前を使っていましたが、第5次におきましては、総合を外しました。つまり、どちらにするか検討してからになりますので、建設の順番からいきますと計画の後半部分になるかと思えます。

杉浦幹夫委員

町民文化ホールを建設します。それから、先ほど言われた体育館、プールも建設しますという意思表示をしているなら、10年計画なら、3年目はこういうこと

に着手し、5年後に完成しますというような、推進状況の3年目、5年目、10年目でそこまでこぎつけますというようなシミュレーションというか、そういうものが必要ではないかと思えます。

総合計画の基本計画はすばらしいものだと思いますが、ただ、絵に描いたもちで終わらせるのではなく、それぞれの課には非常にプレッシャーになるかと思いますが、何年先には必ずやり遂げますというような目標数字をつけてやっていく必要があったほうが良いと思えます。そうでないとかういった会議でいろんな意見を言っている意味も非常に薄くなる気がします。

町長

実施計画的な年次的なものを、何年までに行うと言えれば非常にいいわけですが、先ほども申し上げたように、今言った順番で建設に関連が出てくることから、はっきりした数字で年数を言えるのは、保育園がはっきりした年数で言えます。これは平成25年度で開始するというふうに述べています。

それと同時に、新庁舎の建設について庁舎内のプロジェクトが動いていますが、プールが関連してきますので、場所が全然違うところであれば、今のプールが存続すればまだ後半になりますし、プールをつぶすことになれば同じ時期にプールをつくるということになります。

第5次総合計画の前半と後半と分けるならば、前半に保育園と新庁舎、後半へ持っていったときにプール等が出てくると現時点では考えています。

伊藤直人委員

134ページの一番下の総合型地域スポーツクラブの説明がありますが、こういった説明というのは最初に言葉が出てきたときに説明をすると考えます。114ページに総合型地域スポーツクラブというのが新たに入ってきましたので、こちらで説明したほうが良いと思えます。

教育部長

114ページに用語解説を掲載するよう対応します。

佐治有孝委員

住民福祉課の問題になりますが、対象者は小学生ですから教育のほうに入ってきてても共通する問題があると思いますので学童保育所に関して、最近の情報がちょっと分かりませんので現状を教えてくださいと思います。

民生部長

学童保育につきましては民生部の管轄になりますので、私がお答えします。

箇所的には、町内4小学校区で1箇所ずつやっています。去年、場所等に変更がありました。南部も英比も場所が変わりました。東部はそのままです。草木につきましても、県道を挟んで反対側でしたが、草木小学校の近くに場所を変えて実施しています。ですから、4箇所のうちの3箇所が新しい場所で運営しているというのが実態です。

人数につきましても、以前よりかなり増えています。ちょっと何人というのは今手元に資料はありませんが、以前より活発に学童保育は行われていると私は感じています。

佐治有孝委員

学校が終わり、学童保育所に行くまでの安全に関して、どのように対応しているのか、教えていただけたらと思います。

民生部長

一応学童保育の運営事業者の保育士さんが、多分小学校の低学年だと思いますが、児童を学校に迎えに行き学童保育の場所まで連れてきていると聞いています。

佐治有孝委員

保護者が7時なりに迎えにくると思いますが、送迎に関して苦情等はありませんか。

民生部長

苦情等については過去にありました。特に英比は前の場所が坂部公民館の奥で

したので、非常に道が狭くて苦情等ありましたが、今は坂部駅の東側の広いところでやっていますので、すべてとは言えませんが、今のところ私のほうには車の苦情等について届いてない状況です。

佐治有孝委員

もう1点、先ほどのご意見で幼稚園と保育園の問題が出ていました。保育園と幼稚園の違いで、保育園の保育士は幼稚園教諭の免許も持っています。両方持っていますから、保育園のほうが下だとか幼稚園が上だとかという意識ははずしていただきたいと思います。これは個人的な、私、保育園の園長の意見ですが、保育士は一生懸命やっていますのでよろしくお願いします。

皆川徳成委員

先ほどの言葉はちょっとそのようにとられると申し訳ありませんが、私の本音は幼稚園も保育園も一本化して欲しいということが本音です。そういう幼稚園と保育園の差、幼稚園のほうが保育料が安い、そうしたらその経費は本当に町にとって有効なのか無駄なのかとか、そういうこともありますので、これをどのようにしていくのか、またご検討をお願いいたします。

佐治有孝委員

将来的に、保育園も幼稚園も多分一緒になると思いますので、そういうご意見なら了解しました。

吉住まり子委員

115ページの主要事業の学校施設整備事業において、太陽光発電システムの整備とありますが、こうしたエコスクール化はどの学校が予定されているのでしょうか。

教育部長

特にどこという指定はしていませんが、教育の面を考えると中学校にまず取り組むのが適当ではないかと思っています。

次回審議会日時：平成22年10月12日（火）午後1時30分より大会議室で  
基本計画の第5章と第6章を予定。

午後3時00分閉会

阿久比町総合計画審議会運営規則第5条第3項の規定により、ここに署名する。

阿久比町総合計画審議会

会 長 新 美 正 彦